

第12回 富山大学 和漢医薬学総合研究所

夏期セミナー

和漢医薬学入門講座

和漢薬の原点と未来を見つめて



- 定員 : 70名程度
- 対象 : 和漢医薬学に関心を持つ学生、社会人など
- 2泊3日の合宿型セミナー

1日目

開会の辞

漢方医薬の基礎

- ・今なぜ漢方か - 漢方を学ぶ意義と学び方 -
- ・漢方医薬の適正使用に必要な知
 - 生活習慣病に用いる防風通聖散の「使用上の注意」を例にして -
- ・漢方診療の実際
- ・生活習慣病における和漢薬の役割
- ・生活習慣病に見る養生と漢方

富山大・和漢研・和漢薬製剤開発
 大阪大谷大学・薬・漢方医療薬学
 富山大・和漢研・漢方診断学
 富山大・医・和漢診療学
 日本大・医・東洋医学

鹿野 美弘
 谿 忠人
 柴原 直利
 後藤 博三
 木下 優子

和漢薬談義

- ・どんなとき漢方？こんな風に漢方！
- 総合病院における漢方診療の実際 -

麻生飯塚病院・東洋医学センター

三浦 忠道

2日目

基礎研究と臨床研究

- ・漢方・機能食品の基礎的臨床的アプローチ
- ・腎疾患の漢方治療の現状
- ・インスリン抵抗性からみた糖尿病治療の進歩と和漢薬への期待
- ・和漢薬と現代内分泌学の接点
 - グリチルリチン研究が明らかにしたもの -

筑波技術大・東西医学統合医療センター
 黒河内病院

青柳 一正
 室賀 一宏

富山大・薬・病態制御薬理学

笹岡 利安

氷見市民病院

加藤 弘巳

体験実習

- ・生薬方剤の鑑定
- ・桂枝茯苓丸をつくってみよう
- ・「気血水」診断法
- ・未病治と養生

富山大・和漢研・生薬資源科学
 富山大・和漢研・生薬資源科学
 富山大・和漢研・漢方診断学
 国際伝統医学センター

小松 かつ子
 小松 かつ子
 柴原 直利
 上馬場 和夫

和漢薬談義

和漢医薬学総合研究所 若手研究者による “和漢薬研究のここが面白い！”

3日目

企業から

- ・和漢薬研究に期待する

テイカ製薬

松井 竹史

総括

富山大・和漢研・所長

済木 育夫

修了証書授与式・閉会の辞

富山大学 民族薬物資料館および和漢医薬学総合研究所見学

日時 : 平成19年8月28日(火)午後1時 - 8月30日(木)午後2時

会場 : 呉羽ハイツ 富山市吉作4103-1 (JR富山駅から送迎あり)

今回から会場が変わりました

国際伝統医学センター(体験実習のみ) 富山市友杉151番地

会費 : 学生 20,000円 社会人 25,000円 (宿泊費、食費、テキスト代を含む)

参加申し込み受付 6月1日(金) - 7月31日(火)

下記を明記の上、E-mail, FAX, あるいは往復はがきにてお申し込みください

氏名、年齢、性別、所属(大学・学部・学年;企業名)、連絡先(住所、E-mail、電話、FAX)

連絡先 〒930-0194 富山市杉谷2630

富山大学 和漢医薬学総合研究所 薬効解析部内 夏期セミナー事務局

E-mail: kakisemi@inm.u-toyama.ac.jp

TEL: 076-434-7670 FAX: 076-434-5068 <http://www.inm.u-toyama.ac.jp/kakisemi/2007/index.html>

主催 : 富山大学 和漢医薬学総合研究所, 21世紀COEプログラム「東洋の知に立脚した個の医療の創生」

共催 : 和漢医薬学会 後援 : 日本薬学会